

☆TAC!! 公式アカウント 登録者 1,000 名突破☆

T A C の情報発信力強化を目的に 2020 年 6 月に開設した当アカウントは、
2/26(金)をもちまして登録者 1,000 名を突破いたしました！
引き続き T A C の皆様の役に立つ情報を配信していきますので
今後ともよろしくお願いいたします。

■登録は右の QR コードからお願いいたします■



お知らせ

■埼玉県担い手サポートセンター 「令和 3 年度 J A 営農担当者研修会」の開催 (4/15) NEW

J A の T A C および営農指導担当職員等の営農指導力強化をはかるため、J A 埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術および施肥防除・品目知識・流通等に関する年間 10 回で構成された体系的研修会を開催しています。

令和 3 年度は「作物コース」に 25 名、「野菜コース」に 23 名の受講応募があり、今年度第 1 回研修を 4 月 15 日 (木) 埼玉県種苗センターにて新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで開催しました。

作物コースでは「水稻の移植作業および初期中期の生育管理」をテーマに研修し、農繁期対策の知識を習得しました。

野菜コースでは「果菜類の育苗・接ぎ木・定植」をテーマに研修しました。なかでも実体験したキュウリの接ぎ木において「農家の苦勞」を感じ取ったようです。今回も含め全 10 回の研修を通じ、営農技術の習得と生産現場での指導力の向上を目指します。



■石川県 J A グループ石川営農戦略室 令和 3 年度 新任営農担当者・T A C 担当者研修会の開催 (4/15~4/16) NEW

石川県の担い手サポートセンター機能組織である J A グループ石川営農戦略室では、4 月 15 日~16 日に県内の新任営農担当者、T A C 担当者を対象とした研修会を開催しました。

■全農本所営業開発部・種総合対策部 G A P 勉強会を開催します！ (5/25) NEW

全農本所営業開発部と耕種総合対策部は、業務に必要な G A P の知識や関係先の情勢を簡潔にまとめた勉強会を開催します。これまで G A P に関する学びの機会は、主に資格取得を目的とした指導員講習会に限られ、手軽な機会がありませんでした。そうした声に応え、短時間で簡潔なカリキュラムにしています。G A P は J A グループの事業全般に関わる取り組みです。直接の担当で無い方も含めて、皆様のご参加をお待ちしています！

【講習会概要】

1. 日時：令和 3 年 5 月 25 日 (火) 10:00~11:30
2. 開催方法：オンライン方式 (w e b e x)
3. 対象者：J A グループ関係者
4. 内容：
 - (1) G A P について
 - (2) 国・行政の取り組みについて
 - (3) J A グループの取り組みについて
 - (4) 国内・国外の販売情勢について
 - (5) その他
5. お申込期日：令和 3 年 5 月 18 日
6. お申込・お問合せ先：

本所 耕種総合対策部 G A P 推進課
TEL：03-6271-8153

Mail：zz_zk_gapsuisinka@zennoh.or.jp

※その他詳細は、下記をご確認ください。

カリキュラムは[こちら](#)

申込用紙は[こちら](#)

■全農福島県本部 農福連携マニュアル制作発表会の開催 (3/24) NEW

全農福島県本部は 3 月 24 日、農福連携マニュアルの制作発表会を行いました。県内の農業における労働力不足解決を目的として、全農福島県本部が進める農福連携の取り組みをより一層拡大していくため作成したもので、農福連携の概要、取り組み方や事例などを記載しています。このマニュアルは、J A 担当職員や組合員の皆様により広くご利用いただくため制作発表会で県内各 J A に頒布しました。また、マニュアルのデータは J A 全農 福島県本部の

1日目は本年度の新任営農担当者を対象に、JAをめぐる情勢や県内での水稲・園芸の栽培や土壌診断、肥料・農業に関する基礎知識、農業電子図書館の活用など営農全般に及ぶ基礎的な知識を学びました。

また、2日目には新任のTAC担当者および管理者を対象にTAC活動の概要説明をした後、TACパワーアップ大会2020にて「TAC表彰」を受賞したJA石川かほくの櫻井和幸氏を招き新規就農者の育成や産地形成に向けた高度な取組みの事例紹介をいただきました。さらに過去のパワーアップ大会での優良事例動画を聴講し、グループディスカッションでは各JAにおける活動の取組みを再確認し、TACとしての抱負や決意を固めました。



■JAグループ福島 ドローン連絡協議会設立総会の開催(3/24) NEW

JAグループ福島は3月24日にドローン連絡協議会を設立し、設立総会を行いました。この協議会は、農業用ドローンのニーズが大きくなるなかで、それに伴う安全防除、法令順守、散布技術などの情報をいち早く共有していくことと、各JAのドローンを活用した取組を共有することを目的に、県内5JAと全農福島を構成団体として設立しました。今後は年2回の総会の開催を通じて、ドローンの情勢、安全防除や取組状況についての情報共有を図り、ドローンを活用した地域農業の振興に貢献していきます。



■山陰ブロック TAC初任者研修会の開催(4/15)

JAしまね・鳥取県本部は松江市内においてTAC初任者研修会を開催しJAのTACなど10名が参加しました。前半は、TAC設置の背景やTAC活動の全国情勢、さらに島根県内の事例などを学び、今後TACとしての活動を考える良い機会となりました。

ホームページからダウンロードできますので、どうぞご利用ください。



■全農石川県本部 TAC・営農指導員 JA施肥防除合理化モニター協議会の開催(4/20) NEW

全農石川県本部は4月20日(火)にJAのTACや営農指導員を対象としたJA施肥防除モニター協議会第1回会議を開催しました。

施肥防除合理化モニター協議会では、TACや営農指導員が増収や難防除雑草対策等、担い手農家からの施肥や防除に関する課題を聴き取り、新資材の実証等を通じ課題解決を図り、県内の各JAで実施した有効な事例を共有、水平展開を推進する取組みを行っています。

令和3年度からは近年急速に普及がすすむスマート農業技術への対応も課題として取り上げ、ドローンを活用した効率的な除草体系や自動給水栓の有効活用、また、センシングや可変施肥田植機を活用した圃場内の施肥のバラつき抑制等についても検討することとしました。

今後は、取組み途中に巡回を行うとともに12月には取組み成果についてTACより発表を行い、成果確認を実施し各JA担当者の担い手の課題解決に対する研鑽、提案力向上を進めていくことを目指します。



■石川県JAグループ石川営農戦略室 第1回担い手サポートセンター会議(4/13)

石川県担い手サポートセンター機能組織のJAグループ石川営農戦略室は、4月13日に令和3年度第1回の担い手サポートセンター会議を開催しました。

会議は全農石川県本部、JAバンク石川信連、全共連石川が出席し、本年度開催する各種会議や人材育成研修内容を共有するとともに、重点事項であるTAC活動や農業労働力確保対策、事業承継支援、GAP推進、農業リスク対応の取組みや、各連で取組む担い手対応方針について情報共有を行いました。

また、後半のTACシステム操作研修では日報や面談記録作成のポイントなど基本的な操作について実践しながら学びました。

今後も研修会の開催を通じてTACのレベルアップに取り組んでいきます。

■全農滋賀県本部 新任TAC担当者・管理者研修会開催(4/14)

全農滋賀県本部は4月14日(水)、「新任TAC担当者・管理者研修会」を開催し、主に新任のTAC担当者・管理者31名が「TACシステム」および「TACの活動のポイント」について研修しました。

TACシステム研修では全農本所耕種総合対策部TAC推進課を講師に、担い手情報や面談記録の登録・変更、Dr. Sumを使用した面談記録の集計等を実際に操作しながら研修を行いました。JAによってはTACシステムで日報作成し業務管理する方針を示しており、実務にそった研修となりました。

午後の部では「TACシステム研修」の他、「TACの活動のポイント」として全農滋賀県本部 営農資材部 営農対策課 鋒山担当がTAC活動の状況や取り組み優良事例について説明しました。

今後とも全農滋賀県本部はTAC活動に関するサポートを継続して実施します。

■全農本所耕種総合対策部GAP推進課 第1回GH(グリーンハーベスター農場評価制度)評価員養成講習のご案内

全農本所耕種総合対策部GAP推進課はJAグループ職員を対象に「GH(グリーンハーベスター農場評価制度)評価員養成講習」を開催します。

受講希望の方は下記の募集要項を確認のうえ、本所耕種総合対策部GAP推進課までお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしています。

【第1回GH評価員養成講習日程】

- ・基礎講習会：令和3年5月17日～19日

(WEB)

- ・実践講習会：令和3年5月27日～28日

(全農 営農・技術センター)

○第1回GH基礎講習会募集要項は[こちら](#)から

○第1回GH実践講習会募集要項は[こちら](#)から

○受講申込書は[こちら](#) (申込期日：5月7日)

○問合せ・申込先：

本所耕種総合対策部GAP推進課

E-MAIL：zz_zk_gapsuisinka@zennoh.or.jp

■お知らせ

【Z-GIS情報 No.21】

- 「Xarvio®FIELDMANAGER」との連携を開始しました！！

TACシステムの「知恵箱」-「15. TAC広報」「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

【残留検だより No.8】

- 新年度のご挨拶と人事異動のお知らせ

- 残留農薬用語集(その5)

などなど・・・

TACシステムの「知恵箱」-「05. 農業」に投稿済

また、令和3年度のTAC活動について、チェックリストを活用したJAでの必達・ステップアップ取り組み事項を定めていくとともに、モデルJAを定めた県域での事業間連携によるJAと一体となった担い手支援、事業承継支援の強化、また、農家台帳システムの利活用を進めていくこととしました。

JAグループ石川営農戦略室では定期的に担い手サポートセンター会議を開催し、JAグループの総合力を活かした担い手支援に取り組んでいく予定です。

■全農本所GAP推進課 「JAグループGAP第三者認証取得支援事業」支援産地募集中！

「JAグループGAP第三者認証取得支援事業」では、GAP第三者認証(JGAP、ASIA GAPとGLOBAL GAP)の団体取得を目指す産地に対してアドバイザーを派遣し認証取得支援を行っています。

平成29年8月より事業を開始して以来、これまで21生産部会の支援をしています。事業期間は令和2年9月まででしたが、産地からのニーズの高まりを踏まえ、期間を令和5年9月まで延長し、新たに産地の募集を行っています。

支援を検討・希望する産地につきましては、全農本所耕種総合対策部GAP推進課までお問い合わせください。

資料は[こちら](#)から

○問合せ：全農本所耕種総合対策部GAP推進課

E-MAIL：zz_zk_gapsuisinka@zennoh.or.jp

TEL：03-6271-8153

■各媒体でTAC関連の記事が掲載されました

【日本農業新聞】

- ノウフクJAS ブランド化販路開く(4/28) **NEW**

- みどり戦略工程判明 30年度環境負荷減へ技術示す(4/28) **NEW**

- みのりカフェ博多きょう開店 直売所や再販売へ(4/27) **NEW**

- 農業帳票自動で作成 栽培管理アプリ開発 Agrihab(4/26) **NEW**

- 集落営農の法人化支援個別訪問で対話促進 JAグリーン近江(4/26) **NEW**

- 農業経営見える化ツール構築へ 千葉県(4/23) **NEW**

- 草刈り作業本番 適正使用・安全対策を(4/23) **NEW**

- 全農ちば農福連携進める ラッカセイ調製好評(4/23) **NEW**

- 衛星画像で営農指導 石川(4/23) **NEW**

【日本農民新聞】

- JA全農令和3年度事業のポイント 3か年計画総仕上げへ加速化(4/25) **NEW**

- 農水省・JA全中、日本農福連携協会が「農福連携」協定を締結(4/25) **NEW**

【グリーンレポート4月号】

- がんばる担い手ー広島県呉市 立花翼さん

- 巻頭連載ースマート農業研究成果

- 視点ー全農が取り組む農作業請負による労働力支援

- 営農アシストー見回り回数や作業時間を削減できる自動給水機

- 2020年に多発したトビイロウンカの発生状況と防除対策

【JA職員のための農業法人支援ハンドブックの紹介】

JAグループ中小企業診断士会よりJA農業経営コンサルティングに取組む職員向けの農業法人支援ハンドブックが発刊されました。JA職員のレベルアップを目的に農業経営の基本事項や法人支援に役立つJAグループの各種商品が紹介されています。本書の発刊を機に、農業法人に出向いてコンサルティングを实践するJAグループの職員が1人でも増えていくことが期待されています。是非ご一読ください。

[立ち読みはこちら](#)
[購入サイト](#)

【経営実務3月号】

○岐阜県 JAぎふ 営農部 小野忠義氏

【地上11月号】

○Z-GISでスマート農業の波に乗れ

【全農ウィークリー】

○vol.959 (4/26) **NEW**

○[スマート農業に弾み](#) **NEW**

技術情報（出典：農研機構 HP 普及成果、研究成果より）

15. [気象データに基づくワイン用ブドウ栽培支援システム](#)（農研機構 HP へリンク）

圃場に設置した気象観測装置とメッシュ農業気象データの予報値を用い、ワイン用ブドウの栽培管理上重要な生育期日を予測する。減収を防ぐための重要防除時期を見逃さないための栽培支援情報として有効である。

16. [天敵が主役の<w天>防除体系「新・果樹のハダニ防除マニュアル」](#)（農研機構 HP へリンク） **NEW**

リンゴ、ニホンナシ、オウトウ、施設ブドウ、施設ミカンを始めとする果樹のハダニ管理において、天敵利用を主体とする持続的防除を、地域や栽培環境に適合して体系構築し実践するために活用する技術マニュアルである。本防除体系の導入により、殺ダニ剤散布回数を年1回以下に抑制できる。

※一覧はTACシステムの「知恵箱」-「14. その他」に投稿済。ファイル名:「【20200331】農研機構研究成果発信一覧表.xlsx」

事業承継

■「事業承継支援 虎の巻」 皆様の技の提供お待ちしております！

全農本所TAC推進課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様へ「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて全農本所TAC推進課にご連絡ください！

■全農本所TAC推進課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」を発行

全農本所TAC推進課はJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しました。ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

本手引きの内容は12月22日開催の事業承継研修会にて解説しています。研修内容を録画したDVDをご要望の際は県域TAC部署を通じてお問合せください。

手引きは、TACシステム知恵箱 フォルダ 『27. 事業承継』に格納しております。

■全農本所 事業承継啓発チラシ親子別 Ver. を作成

全農本所は、事業承継啓発に係る新たなツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しました。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいものとなっておりますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは知恵箱「27. 事業承継」に格納していますので是非ご活用ください。

■全農TAC推進課 JA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて事業承継支援をPR

全農TAC推進課はYouTubeチャンネルであるJA経営実務プレゼンツ「プライマリーニュース」にて、事業承継支援の取り組みをPRしました。

以下から動画がご覧になれます。ぜひご覧ください。

[事業承継ブックPR動画](#)

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

全農TAC推進課は2020年7月「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック部会版)を発行しました。全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願ひします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック(集落営農版)発行・配付

全農本所TAC推進課では、各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック集落営農版)を発行しました。全農HPで公開しています。ぜひ、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願ひします。

全農HPは[こちら](#)

■「JAにおける事業承継の取組手順」発行

全農主催の事業承継プロジェクト会議及び各県域からの意見を踏まえ、「JAにおける事業承継の取組手順」を発行しました。是非各JAでの活用をお願ひします。

なお、データはTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■JA広報通信 特集監修

全農本所TAC推進課では、JA広報通信3月号特集「親子で考えよう 農業の事業承継」の監修を行いました。紙面はTACシステム知恵箱「27. 事業承継」に格納しています。

■事業承継啓発チラシの活用を!

各県からの要望に基づき、事業承継啓発チラシを作成しました。「事業承継ブック」とセットでご活用ください。元データは知恵箱「14. その他」に格納しています。年度末に県域TAC部署から全農本所への利用報告とりまとめも依頼しておりますので、各JAのご協力も宜しくお願ひします。

Z-GIS



!! Z-GIS の動画ができました!!

全農本所スマート農業推進室が新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者への導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。
Z-GIS スタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GIS ユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GIS ユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■全農本所スマート農業推進室 Z-GIS活用ガイドのご案内

全農スマート農業推進室は「Z-GIS活用ガイド」を作成しました。「Z-GIS活用ガイド」では、全国6ユーザーの活用方法を紹介しています。水稻に加え、園芸やGAP、へり防除等への応用について紹介しておりますので、ぜひご覧いただき、Z-GISの活用の幅を広げていただければと考えます。

なお、「Z-GIS活用ガイド」はTACシステムの知恵箱(29(1)Z-GIS情報提供資料)にも格納しておりますので、ご利用ください。

■全農TAC推進課 地上11月号に「Z-GISでスマート農業の波に乗れ」を掲載

全農TAC推進課は10月1日(木)発行の地上11月号にZ-GISの広告を掲載しました。Z-GISの概要や新機能の特集、ユーザーの声に加えて、本所スマート農業推進室平野室長による「Z-GISに込めた思い」のインタビューを載せています。こちらは推進資材としても活用できるよう、チラシをイメージして作成しました。知恵箱→「29(1)Z-GIS情報提供資料」にも格納していますのでご活用ください。

■Z-GIS情報について

4月1日付で本所スマート農業推進室より「Z-GIS情報 No. 21」が発行されました。TACシステム知恵箱の「29(1)Z-GIS情報提供資料」に掲載しておりますので、担い手向け訪問ツールとしてご活用ください。

TACシステムの「知恵箱」-「29(1)Z-GIS情報提供資料」に投稿済

農業労働力支援

■全農本所労働力支援対策室 令和2年度第2回九州ブロック労働力支援協議会開催(3/9)

全農本所労働力支援対策室は3月9日、今年2回目の九州ブロック労働力支援協議会をオンラインで開催しました。

始めに来賓挨拶として内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生事務局から地方創生臨時交付金や地方創生関係交付金の概要説明をいただいた後、情勢報告として九州農政局から令和3年度の補助事業等の概要説明、全農から今後の労働力支援の取り組み、全中から農業労働力支援にかかる取組みと県域実態調査結果について説明があり、続いて各県域から県域実態調査の報告やパートナー企業との連携、web・JA職業紹介所の活用事例、農福連携等の現状と課題など労働力支援に関する取組みが報告されました。

さらに農協観光とJTBの構成団体加入で可決され、来年度の活動案の提案も行われた他、厚生労働省「生活困窮者自立支援制度における農業分野との連携強化モデル事業」の大分県の取組みについて厚労省、共済総合研究所、A´ワーク創造館から報告がありました。

今後、来年度の活動案の具体化に向けて検討を進めていきます。

■全農本所労働力支援対策室 令和2年度第2回中国四国ブロック労働力支援協議会開催(3/4)

全農本所労働力支援対策室は3月4日(木)、今年2回目の中国四国ブロック労働力支援協議会をオンラインで開催しました。

始めに来賓挨拶として内閣府内閣官房まち・ひと・しごと創生事務局から地方創生臨時交付金や地方創生関係交付金の概要説明をいただいた後、情勢報告として中国四国農政局から農業労働力確保緊急支援事業等の概要説明、全農から今後の労働力支援の取り組み、全中から農業労働力支援にかかる取組みと県域実態調査結果について説明がありました。

続いて各県域から、県域実態調査の報告やパートナー企業との連携、web・JA職業紹介所の活用事例、農福連携等の現状と課題など労働力支援に関する取組みが報告され、意見交換の場を持ちました。

協議会事務局からは農協観光とJTBが構成団体に加入することを諮り賛成多数で可決され、さらに来年度の活動案の提案が行われました。

今後、来年度の活動案の具体化に向けて検討を進めていきます。

相談

※いずれも無料ですので、積極的にご利用ください！！

■担い手対応の経営相談

全農本所では、担い手を対象として経営に関する相談を行っています。経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、県域TACまで連絡ください。

■6次産業化相談

全農本所では、6次産業化中央サポートセンターのご協力を得て、6次産業化、商品開発等に取り組む担い手、JA等へ、専門知識を持つプランナーの派遣を行っています。

派遣を希望される場合は、県域TACと協議の上、相談票を作成し、全農本所TAC推進課まで送付下さい。

(様式は県域TACへお問い合わせ下さい)

人材育成(TACアグリビジネススクール、他各種研修案内等)

■全農本所TAC推進課 令和3年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内

内容につきまして詳細が確定いたしましたら後程改めてご案内いたします。

回	日程	時間	テーマ
1	6/2(水)	10:00~15:00	販売強化
2	7/8(木)	10:00~15:00	省力・低コスト資材、技術情報①
3	9/13(月)	13:00~15:00	直近の農業情勢①
4	10/6(水)	13:00~15:00	直近の農業情勢②
5	11/4(木)	10:00~15:00	会計・税務研修①
6	12/1(水)	10:00~15:00	会計・税務研修②
7	1/12(水)	10:00~15:00	会計・税務研修③
8	2/2(水)	13:00~15:00	省力・低コスト資材、技術情報②

■TACの手引き、「TAC担い手訪問ハンドブック」の知恵箱掲載について

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」についてTACシステム知恵箱の「80.(1)と(2)」に掲載しました。ご利用ください。

9	3/2(水)	13:00~ 15:00	労働力支援	
* 会議室・講師の都合により変更する場合があります。				
資材貸出				
<p>■全国共通資材の貸出 ジャンパー、エプロン、帽子、ポロシャツ、のぼり、テーブルクロス、ハッピーの貸出申請書は、TACシステム知恵箱-「83. TAC資材貸出」に投稿されています。 ○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp ◎必ずクリーニングをして返却してください◎ ◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎</p>				
みのりみのるプロジェクト				
<p>■「AGRI FUTURE」Vol.95 (JAきみつ 千葉) 発行(1/8) ○フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPはこちら</p> <p>○生産者の声 大根／ブロッコリー／かぶ</p> <p>○地域百景 里山の滝／黒文字楊枝</p> <p>○クローズアップ 上総掘り</p> <p>※「AGRI FUTURE」は「みのりみのるマルシェ」と併せて、担い手と一緒に地域ブランド創りに取り組むTACへの支援策として、地域ブランドのストーリー（地域の歴史・文化・自然・生産者の想いなど）を、首都圏やJA管内の生活者に伝える企画として実施しています。</p> <p style="text-align: center;">***** みのりみのるマルシェ ***** 今後の予定についてはお手数ですが、みのりとみのるHPにてご確認願います。 ◆みのりとみのるHP ※銀座三越&JR大阪駅マルシェの日程表はこちら</p>				
TACシステム関連情報				
<p>■TACシステム新規ユーザー様向け：メッセージ受信設定について 平成30年3月26日のTACシステムバージョンアップ以降、新規ユーザー様から「TACシステム登録アドレス宛にお知らせメールが届くようになった。メールを受信しない（または必要なメールは受信する）設定はできないか」というお問い合わせをいただきます。TACシステムの個人設定からメッセージ関連設定を選択することで、受信設定を変更できます。 詳細な手順説明は、TACシステム知恵箱「90. (3) 操作マニュアル」に格納しています。 ファイル名： TACシステムメッセージ関連設定マニュアル（1804 作成）.pdf</p> <p style="text-align: center;">◆◆知恵箱掲載のお知らせ◆◆</p> <p>【25. 連絡】利用登録・待ち状況一覧 (20210428) 【06. 資材】包装園芸資材通信2021. 3月号 【00. (1) 肥料】動画 【00. (2) 農薬】動画 【00. (3) 資材】動画 【00. (4) 農機】動画 【00. (5) スマート農業】動画</p> <p>■TACシステムの利用申請書について 利用申請書（新規、再登録、削除）については、原本はJAで保管し、データもしくは写しをヘルプデスク (ninaite-help@z-bs.co.jp) へ送付ください。 メールにて送信する場合、個人情報保護のため、パスワードでの保護をお願いします。利用規約、安全管理マニュアルについてはTACシステム「知恵箱」-「90. (1) 規約・申請書」をご覧ください。 ※新任、勤務地変更、解約がある場合は、速やかに申請書類を提出してください。 ※特にシステムを利用しなくなる方については、必ず、解約手続を行ってください。 ◎詳しくはユーザー申請書記入マニュアル（知恵箱）をご覧ください。 ※申請書類は、各県域（県本部・中央会・経済連等）を通して、ヘルプデスクへ送付してください。</p> <p>■TACシステムへ各種記事媒体の掲載について 知恵箱に記事媒体を引用し投稿する場合には、必ず、事前に発信元に掲載の許可を取ってください（著作権法に抵触します）。</p>				

■ヘルプデスク宛先

〒151-0051
 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-5
 リンクスエア新宿 9階
 株式会社 全農ビジネスサポート
 管理販売システム部 管理販売グループ
 T A Cシステムヘルプデスク 御中
 TEL : 03-3350-1157
 Eメール : ninaite-help@z-bs.co.jp

日本農業新聞を引用・掲載する場合は、所定の申請書により各自で許可申請をして下さい（HPのリンクを張ることについては申請不要です。）

ランキング集計

☆文字化けが発生するケースがある為、画面コピーを貼り付けています。
 文字化けが発生する場合は全農本所 T A C 推進課までご連絡ください。

【 3月 】 月間ランキング

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2021/3/1~2021/3/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	1523	28	54.4
2	JAあおいた	大分	1137	16	71.1
3	JAなす南	栃木	1119	5	223.8
4	JA南彩	埼玉	1106	8	138.3
5	JAおきなわ	沖縄	1102	15	73.5
6	JA福井県 福井基幹支店	福井	1013	24	42.2
7	JAおちいまばり	愛媛	916	19	48.2
8	JA岡山	岡山	878	25	35.1
9	JA福岡市	福岡	689	20	34.5
10	JA常陸	茨城	660	7	94.3

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2021/3/1~2021/3/31)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAなす南	栃木	1119	5	223.8
2	JA京都このくに	京都	496	3	165.3
3	JA茨城かすみ	茨城	154	1	154.0
4	JA八戸	青森	584	4	146.0
5	JA南彩	埼玉	1106	8	138.3
6	JAくま	熊本	365	3	121.7
7	JALまね 出雲地区本部	島根	484	4	121.0
8	JAあきた北	秋田	459	4	114.8
9	JA東西しらかわ	福島	450	4	112.5
9	JA足利	栃木	450	4	112.5

【JA】のすべてのランキング（その他業務を除く、訪問ベースで集計）★4月13日登録までの集計

※4月の月間ランキングは5月19日（水）発行予定の「T A C通信」に掲載予定（5月18日登録までの集計となります）

【 4月12日 ~ 4月18日 】 週間ランキング集計

JA別一面談記録登録状況

(訪問期間:2021/4/12~2021/4/18)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA金沢市	石川	337	28	12.0
2	JAおきなわ	沖縄	272	14	19.4
3	JA北びわこ	滋賀	252	5	50.4
4	JA南彩	埼玉	249	8	31.1
5	JA福井県 福井基幹支店	福井	232	17	13.6
6	JALーク伊吹	滋賀	227	5	45.4
7	JAIこしみの	岐阜	185	13	14.2
8	JAIいわみざわ	北海道	175	15	11.7
9	JAあおいた	大分	167	12	13.9
10	JAさいたま	埼玉	166	11	15.1

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2021/4/12~2021/4/18)

	JA名	県名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA柏崎	新潟	110	2	55.0
2	JA北びわこ	滋賀	252	5	50.4
3	JALーク伊吹	滋賀	227	5	45.4
4	JA茨城かすみ	茨城	44	1	44.0
5	JA加賀	石川	112	3	37.3
6	JALまね 出雲地区本部	島根	138	4	34.5
7	JAなす南	栃木	98	3	32.7
8	JA越後中央	新潟	157	5	31.4
9	JA南彩	埼玉	249	8	31.1
10	JAくま	熊本	91	3	30.3

【JA】のすべてのランキング（その他業務を除く、訪問ベースで集計）★4月27日登録までの集計

※次週の週間ランキングは4月19日～5月2日分の記録を掲載予定。5月11日登録までの集計となります。

情報提供

■特定生産緑地について 本所施設農住部

2022年（令和4年）に生産緑地全体の8割となる約1万haが指定期限の30年を迎え、市町村等への買取り申し出（宅地化）が可能となり、生産緑地を保有する組合員は①特定生産緑地として指定を継続するか、②指定を解除して宅地化等の活用をするか、の選択が必要となります。

資産管理部署をはじめとした関係部署・団体との部門間連携を図り、担い手への情報提供・意向確認を行っていきましょう。

関連資料「生産緑地指定のすすめ」は、T A Cシステムの知恵箱（【08.施設】生産緑地指定のすすめ）に格納しております。是非ご活用ください。

最近のニュース

【最新ニュース】

○農業協同組合新聞

●果樹の防除 10 土壌病害【防除学習帖】NEW

※以下、更新状況のご案内はいたしていません。

【農林水産省】

●農業担い手メールマガジン（不定期配信）

●e-普及だより

- [みのりカフェアミュプラザ博多店で「博多あまおうフェア」](#) J A全農 **NEW**
- [【J A全農 部長インタビュー2021 年度事業計画】竹内仁フードマーケット事業部長 J Aタウンなど販売事業で農業発信](#) **NEW**
- [みどりの食料システム戦略 3【今さら聞けない営農情報】](#) **NEW**
- [屋内農園型障がい者雇用支援サービス「IBUKI」横浜市で3拠点目を開設](#) **NEW**
- [病害虫発生情報](#) **NEW**
- 全中
- [J Aグループ（農業）](#)
- 全国農業新聞
- [農村女性活躍Q & A 議論したり意見がもらえる助言者が欲しい](#)
- [土の健康と施肥 健康な土づくりの基本は土壌診断](#)
- 全農 H P
- [みのりカフェアミュプラザ博多店における「博多あまおうフェア」の実施について（4/27～5/9）](#) **NEW**
- [フードロス削減！！産地直送通販サイト「J Aタウン」で『野菜レスキューBOX』大好評～直売所からお届けします～](#) **NEW**
- [「平成 30 年産米の県域共同計算に係る J A向け精算結果概要」の開示について](#) **NEW**
- [「Apron（エプロン）web マガジン」4月号を更新しました](#)
- [4月17日は「なすび記念日」！みのるダイニングさんすて岡山で「岡山県産千両なすフェア」を開催（4/16～4/30）](#)
- [コロナ禍生産者応援企画！！ 仙台・都内の全農グループ飲食店舗で 仙台牛・だて正夢が味わえる「宮城県産食材フェア」を開催（4/22～5/16）](#)

●補助事業参加者の公募

- ◎災害情報について
- ◎米穀の農産物検査結果

【全国農業会議所】

- ◆[全国農地ナビ](#)
【農機情報】
- ◆[日本農機工業会](#)
【農作業安全】
- ◆[＜関連情報＞農作業安全情報センター](#)
【T P P 関連】
- ◆[T P P 報道（日本農業新聞）](#)
【J A全青協】
- ◆[各地域のJ A青年部の取組（J A全青協 H P）](#)

※本リンクは、インターネットにある新聞や各情報のうち、T A C推進課が担い手に関する内容を収集して作成しています。

J A全農 耕種総合対策部 T A C推進課
T E L : 03-6271-8276
F A X : 03-5218-2535
mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp

T A Cパワーアップ大会 2020「大会宣言」

我々T A Cは、この未曾有の困難を乗り越え、
一、常に担い手に寄り添い、J Aグループの総合力を発揮して期待に応えます。
一、地域と農業の魅力を全国に発信し、元気な地域社会づくりに貢献します。
一、T A Cの力を結集し、環境変化に立ち向かい、農業の未来に挑戦します。

★毎週水曜日を基本に、定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★